

- 1 教科等名 総合的な学習の時間
- 2 単元名 防災から考える～自分と地域～

3 単元の目標

武蔵野市民科
資質・能力

○知識・技能の習得	・「3.11を忘れない」「東京防災」などの資料から災害や防災の現状を知るとともに、武蔵野市の取組や防災に携わる人々の努力や工夫に気付く。	C1
○思考力・判断力・表現力等の育成	・調べ学習を通して、災害から身を守る方法や地域・身近な人に対して何が出来るかを考え、話し合い、まとめたことを発信する学習を通して、相手や目的に適した表現方法を考えて発信する力を育む。	C2
○学びに向かう力・人間性等の涵養	・市役所や井之頭防災会の方の話を聞いたり、地域の方の思いを踏まえて自分の感じたことをまとめたりする学習を通して、自分にできることや防災を意識することのよさに気付き、それを生かしながら地域社会にすすんで関わろう	B3、C3

4 単元計画

小単元	ねらい	時数	○主な学習活動 ・指導上の工夫	関連教科 関連団体（連絡先等）
小単元 ①	自然災害について知る。	1	○社会「自然災害を防ぐ」、「3.11を忘れない」などを活用し、日本の災害やその被害、特徴について知る。	社会科「自然災害を防ぐ」
	災害に対する備えに関する課題をもとに、情報を収集する。	24	○避難訓練や災害の経験、災害に応じた安全対策について学習したことを振り返る。 ○身近なところにある備えについて調べ、何を準備したらよいかを話し合う。 ○準備しなければならないことについて、「自分」「家族」「地域」の観点で整理し、学習の見通しをもつ。 ・図書資料やインターネットを活用する。	図書資料
	自分の身の守り方について知り、まとめる。	25	○「3.11を忘れない」や「東京防災（防災ノート）」などを活用し、災害から身を守るために必要なことを調べる。 ○井之頭防災会や市の防災課の方の話を聞く。 ○調べ学習や体験を通して学んだことをまとめて、学年の中で発表する。 ・日本全体から地域に目を向けさせることで、いつ起こるか分からない災害について自分事として捉えられるようにする。	井之頭防災会 武蔵野市役所防災課
	自分にできることについて考える。防災について学んだことを発信する。	20	○災害時や避難所での人々の行動や過ごし方、人々の協力について調べる。 ○身近な人々や地域に対して自分には何が出来るのか、ハンドブックや模造紙等にまとめる。 ○学習を通して学んだこと、考えたことを発表し合う。 ○地域に対し自分たちにできることを話し合い、まとめ、友達や家族に発信する。 ・発表方法の選択肢をいくつか提示し、児童が主体的に発信できるようにする。 ・学校内だけでなく、地域にも発信できるようにする。	保護者 福祉の会 消防団の方

合計時数 70 時間

5 単元の振り返り

成 果（児童・生徒の変容等）	課 題